

6万会員のための情報紙

県P情報

やまなし

No.123

2015(平成27)年
2月27日●発行/山梨県PTA協議会 会長 小林奈都夫 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目33-7 TEL.055-228-1342
●編集/山梨県PTA協議会情報委員会 ●印刷/株式会社GRANT

題字 渡辺 慈仁(PTA元全県副会長)

災害から子どもの命を守る～第2回山梨県PTA大会開催～

「災害から子どもの命を守る」をメインテーマに、平成26年11月29日(土)甲斐市双葉ふれあい文化館において、阿部邦彦山梨県教育長をはじめ来賓多数の御臨席のもと盛大に開催されました。会員436名が一堂に会し、災害における意識が高まる充実した大会となりました。

開会行事、表彰式及び披露に引き続き、第一部では、2つの実践発表が行われました。はじめに、磯村賢一企画委員長から安心・安全に関わって「学校・PTA・地域が連携した取り組み」について事例を交え自助・共助・公助を呼びかけました。次にガールスカウト県連盟の丸山久美子様から、少女たちの生きる力を培うと題して、図や表を映像で分かりやすく報告がありました。



第二部では、最初に問題提起として「福島からの報告」を佐藤辰夫日本PTA相談役から聞くことができました。東日本大震災当時から現在までの状況

を切々と訴えられ、心を締め付けられる思いでした。また、災害・防災ボランティア未来会の山下博史様と小林会長、反田母親委員長の三人での会話も、山下様の実践に裏打ちされたお話が伺えて会場も和やかな雰囲気になりました。

次に、山下様が進行役となり、避難所運営ゲーム(HUG)を行いました。母親、父親、教職員、社会教育振興会員の代表者12名が2班に分かれて舞台上で実演しました。大規模災害が発生した場合に、避難所運営の立場から、進行役から諸課題の



カードが読まれ、各班員が相談し合い、避難者を適切に、図上平面の校舎や体育館に配置していきます。2台のカメラがその様子をリアルタイムでスクリーンに映し出していきます。会場の参加者も自らの考えと合わせながら、一緒に体験できたと大変好評をいただきました。資料として避難所全体の地図が手元にあったら初めての人もさらによく理解され、楽しめたのではないかとの声も聞かれました。

この大会を通して、災害意識の重要性が再認識され、各々の立場で非常事態に日頃から備えておく必要を強く感じたのではないのでしょうか。



お知らせ

地域指導者講習会・単P会長予定者研修会(講演と分散会)

- 日 時 平成27年3月7日(土) 9時受付 9時30分開会
- 場 所 山梨市民会館 大ホール
- 講 師 エッセイスト 功刀すみ子氏
- 演 題 「人を惹きつける挨拶のこつ」

広報紙づくり講習会 ※コンクール審査結果発表

- 日 時 平成27年5月16日(土)
午後2時受付 2時30分開会
- 場 所 甲府市南部市民センター
- 講 師 山梨日日新聞社編集局次長 小宮山良一氏

第37回 PTA広報紙作品募集

- ◎26年度発行の学校広報紙を1部ずつ県P事務局へお送り下さい。
- 募集〆切 平成27年3月31日(火)

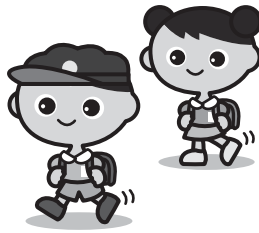
平成27年度 山梨県PTA協議会・親子安全会・扶助会 定期総会

- 日 時 平成27年6月6日(土)
午後12時30分受付 1時開会
- 場 所 南アルプス市 桃源文化会館

より一層の防災意識の向上を!

今年度メインテーマ「災害から子どもの命を守る」のもと、関ブロ・県討論集会・県P大会において、企画委員会を中心に学校・PTA・地域が連携した取り組みの発表を行いました。

- 1 地震防災対策の取り組み
- 2 豪雪の経験を活かして
- 3 PTA・学校・地域連携の成果事例
 - ・スクールゾーン指定への取り組み
(甲斐市立竜王北小学校・竜王北中)
 - ・道路拡幅・歩道整備への取り組み
(山梨市立牧丘第一小・笛川中)



これらの取り組みを通して改めて「自分の命は自分自身で守れるように、親が子に教える大切さ」を感じました。



全企画委員の参加、協力により、研究発表が成された事をご報告致します。 企画委員会副委員長 立花佑子(竜王北小P)

第46回 関東ブロックPTA研究大会さいたま市大会

平成26年
10月25日(土)~26日(日)

大会スローガン「五つのことだま 子は親の鏡 生き抜く力を子どもたちに」

10月25、26日の2日間、大会スローガン「ささえ合い いのち尊び たくましく まごころつなぐ 子どもたちに」~五つのことだま 子は親の鏡 生き抜く力を子どもたちに~として、第46回関東ブロックPTA研究大会さいたま市大会が開催されました。

山梨県PTA協議会からは、小林会長をはじめ50名が参加しました。県内各地から集まり、「かいじ」で行きました。

1日目は8つの分科会が開催されたので、数名に分かれて各分科会に参加しました。地域連携、安心・安全、健康、家庭教育、人権、組織・運営、伝統文化をテーマにそれぞれ講演と、研究発表が行われました。大宮ソニックシティ市民ホールで開催された第5分科会では、『命』大切にしていますか?生まれてきてくれてありがとう~知ること知らせること共に生きる~を研究テーマに、さいたま市立与野本町小学校長張替



克美氏の講演を拝聴しました。特別支援教育を例にとり、様々な人権課題の中で、「命」の大切さについて講演していただきました。大切なのは障がいのある人々への同情ではなく、障がいのある人々との活動が、当たり前だと思うようになることだとお話しいただきました。研究発表では、宇都宮市PTA連合会の皆さんがいじめから子どもを守るためにリーフレットを作成した取り組み例を発表し、親自身の振り返りの大切さについて熱く語っていただきました。疑似体験では、軍手、メガネをして高齢者になり、ペットボトルのふたを開けたり、折り紙を折ったりすることがいかに大変なことかという不自由さを体験しました。

2日目は、全体会がさいたま市文化センターで開催されました。記念講演では歌手の沢田知可子氏が「ココロとカラダに優しい歌薬」と題して、「初恋」、「ギフト」、「逢いたい」など心に響く歌声と、お話しでは、その歌に込められた思いや、歌を通した時間旅行への誘いなど、ご自身の体験を通したお話を聞かせていただきました。普段の生活ではなかなかできない自分を振り返ることができ、充実したものでした。この大会を通して学んだことを、今後のPTA活動に生かしていきたいと思えます。すべては子どもたちの笑顔のために。来年度の第47回大会は、横浜での開催となります。

丹沢真樹(峡南・上野小P)

受賞おめでとうございます 優良団体・個人、広報紙コンクール表彰

授賞式:平成26年11月19日 於ホテルニューオータニ

文部科学大臣表彰(団体)

- ★昭和町立押原中学校PTA
- ★身延町立久那土中学校PTA
- ★甲斐市立しきしま幼稚園

日本PTA会長表彰(団体、個人、広報紙コンクール)

- ★甲府市立東中学校PTA
- ★萩原智子 (25年度副会長)
- ★早川純一 (25年度副会長)
- ★北杜市立高根北小学校PTA「もみじ」

- ★甲州市立勝沼小学校PTA
- ★桂原慎治 (24年度副会長)
- ★雨宮俊彦 (25年度副会長)

※そのほかの県P会長表彰については、ホームページをご覧ください。

(※敬称略)

特集 ケータイ・スマホ等の わが家ルールを作っていますか?

- ・ ネット依存
- ・ なからスマホ
- ・ メールでのトラブル
- ・ 個人情報の流出
- ・ ネットいじめ
- ・ 高額請求
- ・ ワンクリック詐欺

便利なものだけど、危険もいっぱい!



山梨では 次のルールをおすすめします。

- ゲームやSNS等の利用はできるだけ控え、夜9時以降は利用しません。
- 食卓にケータイ・スマホを持ち込みません。
- ネット上に、人の悪口を書き込みません。
- ネット上に、自分や人の個人情報(画像や動画を含む)を書き込みません。
- ケータイ・スマホを使わない人、返信がない人を仲間外れにしません。

大人の方もいっしょに考えてね!!



三行詩へのご応募ありがとうございました!

今年度の県への応募状況は、応募総数750点、そのうち単Pから県への推薦は163点でした。例年通り、常任理事による選考の結果、次の15点が県の優秀作品に選ばれ、日本PTAに推薦いたしました。その結果、中学生の部において、山梨南中学校2年の佐藤巧人君の作品が、全国の佳作に選ばれました(佐藤君は、2年連続で県優秀作品に選ばれています)。御協力、本当にありがとうございました。

小学生の部

- つらい事 話した分だけ心が軽く うれしい事 話した分だけ心がはずむ.....東雲小6年 長岡 航輝
- おはよう ありがとう おやすみなさい 家族をつなぐ 合言葉だね。.....三村小4年 土屋 勇翔
- しゅうだんどうこう べらんだからてをふってくれる おかあさんとねえね。
ぼくははずかしくて ちいさくてをふることしかできないけれど、ほんとうは とってもうれしいんだよ。
.....鯉沢小1年 望月 蒼良
- 悩んだら家族に話せば楽になる。みんなあなたの味方だよ。.....鯉沢小4年 磯野 匠邑
- がっこうの できごとはなす ゆうごはん.....中道北小1年 橋田 馨

中学生の部

- お母さん ありがとうの一言が はずかしくて言葉に出せない だからだまって 食器を洗う
.....(全国佳作)山梨南中2年 佐藤 巧人
- だれにもほめられずとも ひたむきに 家事にいそしむ 強き母.....東桂中3年 白須 大登
- 元気がない日もあるけれど おはようだけは 毎朝言おう.....長坂中3年 鈴木菜々美
- 屋根の下 喜怒哀楽で あふれてる.....笛南中1年 河野紗也加
- 「めざましが、なくてもちゃんと起きてエライ。」と、母は言うけど、
母特製の手づくり朝ご飯が 私の秘密のめざましだ。.....甲府南中1年 広瀬 黎

一般の部

- 親に文句 言えるお前は幸せ者 聞ける私も幸せ者.....甲府南中 石原 英男
- 言葉より 一日一度は抱きしめて 子どものぬくもり 親のぬくもり.....塩山北小 坂野さおり
- 仕事多忙 デスクトップの子の笑顔 みなぎる力 よみがえる.....韭崎東中 古屋 達之
- 良いことも 悪いことも 一緒に喜び 一緒に泣いて...あつという間に六年生.....塩山北小 古屋めぐみ
- 会話をたくさんする事で 共感し合える事がある。何かあったら迷わず相談。
家族はいつでもあなたの味方。そして素敵な宝物。.....岩手小 佐藤ゆかり

親子安全会・扶助会だより

もしもの時の備え

山梨県PTA親子安全会 会長 三井久美子(御坂中P)
山梨県PTA扶助会

今年度の親子安全会・扶助会の審査運営委員会及び認定委員会も、あと1回を残すのみとなりました。その中で、特に死亡見舞金・厚生援助金申請件数の累計が昨年度を超える件数となっておりますことに、委員一同心を痛めております。見舞金の給付にあたりましては、申請した皆様に少しでも早く見舞金が届きますように、委員16名、医師1名、事務局2名が、公平・公正かつ迅速な給付に努めております。

また、親子安全会は、各学校のPTA活動を側面から支援するために、今後も『不登校児童生徒対策事業』を展開するとともに、教育四者による『教育相談事業』に取り組み、皆さまをサポートする活動を行ってまいります。

下記に、見舞金の給付規定並びに教育相談のお知らせを掲載いたしました。もしもの時の備えとしてご確認ください。詳しくは各学校のPTA事務局にご相談ください。

相互扶助の親子安全会

PTA親子安全会審査運営委員長 渡辺治男(吉田小T)

親子安全会という相互扶助の見舞金制度を実施したらどうかという提案がPTA全国大会で提案されたのが昭和46年で、山梨県でも昭和50年4月から業務を開始し、本年度で40年間継続されたこととなります。

現在は年9回の審査会で、毎回200件程度の見舞金請求が寄せられています。家に帰ってからのけがや自転車走行中の転倒によるけが、スポ少の練習や試合中のけがなど様々な事案があります。審査会では、事案の一つ一つについて規則に則り厳正・公平に審査を行っています。

本制度により、多くのPTA会員や児童・生徒の相互扶助が円滑にしかも設立目的を果たせるようにこれからも努めていきたいと考えています。今後とも御理解と御協力をお願いします。

親子安全会見舞金

もしも**けが**をしてしまったときには……親子安全会から**見舞金**が給付されます。

治療回数が**2回以上**のけがや死亡の場合、申請により見舞金が支払われます。

区分	対象	事由	見舞金額	
死亡見舞金	児童生徒	日本スポーツ振興センター適用外 ※学校生活中以外の全てのけがが対象	10万円	
	保護者・教職員	疾病・傷害を問わずいかなる場合も対象	10万円	
傷害見舞金 【整(接)骨院での治療は5割給付、上限50,000円】	児童生徒	日本スポーツ振興センター適用外	入院	1,500円/1日
			通院	1,000円/1回
	保護者	1 PTA活動中 2 児童生徒を対象とした社会的行事参加中 ※社会的行事とは公的機関が主催の行事	入院	3,000円/1日
			通院	1,500円/1回
教職員	1 PTA活動中 2 児童生徒を対象とした社会的行事参加中 3 勤務中	入院	3,000円/1日	
		通院	1,500円/1回	
後遺障害見舞金	児童生徒 保護者・教職員	後遺障害見舞金支払区分によって査定された金額。 (ただし入・通院傷害見舞金と合算して10万円以内)		

扶助会援助金・見舞金

万一、保護者(会員)が**死亡**したとき……

扶助会から**厚生援助金**(一時金)が、

PTA活動中や社会的行事参加中の事故死亡には、**弔慰見舞金**が支払われます。

※詳しくは学校から配布される
『平成27年度
親子安全会・扶助会の手引き』
をご覧ください。

区分	対象	事由	金額
厚生援助金	保護者	児童生徒の保護者(親権者)である会員死亡(死亡の理由は問わない。)	10万円
弔慰見舞金 (事故死亡の場合のみ)	児童生徒	PTA活動中による事故死亡(日本スポーツ振興センターの適用外)	100万円
	保護者・教職員	PTA活動中による事故死亡	300万円
		児童生徒を対象とした社会的行事参加中による事故死亡 (社会的行事とは、公的機関の主催共催行事)	200万円
	教職員	勤務中による事故死亡	100万円

教育相談事業

教育四者(PTA協議会・校長会・教頭会・教育会)による教育相談

相談会場等案内 【相談時間】原則として午後1:30~5:00 ※相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	第2・第4水曜	依田 一秀
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438	055-265-2117	随時対応	塚越 武文
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町鯉沢795-4	0556-22-1500	随時対応	尾崎 源武
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	毎金曜日	渡邊 正義
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	第1・第3月曜	仲田 俊朗
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随時対応	奥脇 義徳
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	第1・第3月曜	天野 文義
全県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-33-7	055-228-1342	随時対応	澤登 義洋 武井 文雄

編集後記

関東ブロック研究大会と第2回山梨県PTA大会の報告等とNo.123の数字の並びが上向きの県P情報となりますように願い、県Pの活動がPTA会員皆様にご理解いただけましたら幸いです。

今回の編集も多くの皆様や情報委員の力をお借りしてできた事に感謝いたします。

情報委員長 新井 賢 吾